

目 次

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1. 南紀熊野サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
2. 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	6
㊧履歴書	7
㊨令和7年度前期検定料の納入について	8
III. 学部開放授業受講者の募集	9
1. 聴講申請の手続き	9
2. 申請書類等	
㊩学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	11
㊪学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	12
㊫令和7年度前期学部開放授業の聴講料の納入について	13
㊬学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV. 令和7年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	14
1. 大学院授業	14
2. 学部開放授業	16

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った実習の様子



学部開放科目の様子



「南紀熊野の宇宙」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

令和7年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※和歌山県内の高校に在学の高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」で聴講が可能です。
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき）	聴講料 11,000円（1科目） ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2025年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは聴講料は、10,000円（1科目）となります。
経 済 学 研 究 科 修 士 課 程 へ の 進 学	【詳しくは経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。 ※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。保険料や交通費等は各自の負担となります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

○1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について5ページの問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

※ただし、修了要件となる単位として認められない場合があります。

○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

【受講可能期間】

○初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度より登録料を免除する制度を廃止しました。

ただし経過措置として、登録期間の有効期限が2025年4月1日以降の開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの聴講料は10,000円となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、14ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※やむを得ず遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。

(オンライン授業に切り替わった際に必要なPC等の受信端末やネット環境等を各自で準備してください。)

※各自が持参したノートパソコンを用いる授業科目、履修条件がある授業科目があるので出願前に問い合わせ先まで照会してください。

※授業内容を録画することもあります。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和7年2月20日(木)～2月27日(木)(必着)

出願書類等を学務課学部等支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付(期限必着)してください。

【出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部等支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉘)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉙)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留料金の530円分の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)または、利用等履修生証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、3月12日(木)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和7年3月13日(木)～3月14日(金)(必着)

手続書類を学務課学部等支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部等支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

令和 年 月 日

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	農業経済学	1
<input type="checkbox"/>	管理会計論	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和7年4月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学	年 月
		卒 業	年 月
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

令和7年度前期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部等支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和7年度前期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和7年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000	円		
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
普通預金	0766935			
口座名	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

令和7年度前期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	5	6	1	
フリガナ				
志願者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	5,000			
電信扱	円			
手数料	円			
依頼人				
ご依頼人				

電信扱

手数料ご依頼人負担

金融機関で切り離してください。

取納印

(取扱店保存)

*金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

III. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※本学の授業実施状況に準じて遠隔授業(オンライン)に切り替えることもあります。切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備してください。

※授業によっては、授業内容を録画することがありますので、ご了承ください。

「熊野祭礼学」

(30名程度)……田辺市会場

「南紀熊野の先人たち」

(20名程度)……田辺市会場

「統計による社会の分析」

(10名程度)……田辺市会場

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

申請期間・方法

令和7年4月4日(金)～4月18日(金)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、不在の場合がありますので事前に事務室にご連絡ください。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(4月4日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2025年3月31日以前の方	2025年4月1日現在、登録有効期間中の方										
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊸) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>11,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>22,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>33,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊸の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	11,000円 (1科目の場合)	22,000円 (2科目の場合)	33,000円 (3科目の場合)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊹) <input type="checkbox"/> <table border="0"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">・聴講料</td> <td rowspan="3" style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">{</td> <td>10,000円 (1科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>20,000円 (2科目の場合)</td> </tr> <tr> <td>30,000円 (3科目の場合)</td> </tr> </table> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊹)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊹の所定の位置に貼付してください。</p>	・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)	20,000円 (2科目の場合)	30,000円 (3科目の場合)
・聴講料			{	11,000円 (1科目の場合)							
				22,000円 (2科目の場合)							
	33,000円 (3科目の場合)										
・聴講料	{	10,000円 (1科目の場合)									
		20,000円 (2科目の場合)									
		30,000円 (3科目の場合)									
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊺ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。										

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。
和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

※フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(4月18日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月28日(金)までにご連絡ください。

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写 真 欄
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏 名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日(男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名(署名) _____

申請者との続柄(_____)

※楷書で丁寧に自書すること。
 ※氏名の漢字は、登録者証に使用できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	熊野祭礼学
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の先人たち
<input type="checkbox"/>	統計による社会の分析

1 科目 11,000円
 2 科目 22,000円
 3 科目 33,000円

新規聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙②)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

以下、大学記入欄

学 生 番 号 : _____

発行年月日 : 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

有効期限 : 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____) _____

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____ - _____ - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	熊野祭礼学
<input type="checkbox"/>	南紀熊野の先人たち
<input type="checkbox"/>	統計による社会の分析

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1 科目 10,000円
 2 科目 20,000円
 3 科目 30,000円

登録期間中の聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

令和7年度前期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙⑤)での申請は聴講料11,000円(1科目につき)となります。
更新受講申請者(用紙⑥)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

C 票 振込金受付証明書

令和7年度前期聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和7年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	
金額	円				
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店				
受取人	普通預金	0766935			
フリガナ	和歌山大学				
受講者氏名					
				振込手数料	円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

切り取って、金融機関にお出しください。

A 票 振込依頼書

令和7年度前期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店(普)			
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				
振込指定	0766935			
金額	円			
内	現金			
取	手数料			
依頼人負担	円			

収 納 印

(取扱店保存)

*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

IV. 令和7年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業

授業科目名 (英文表記)	農業経済学 (Agricultural Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 5月10日(土) 13:00~17:00	第3回 6月21日(土) 13:00~17:00	
	第2回 5月31日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

農業の現状と課題について基礎的知識を身につけるとともに、食料需給や農産物貿易等の「農」と「食」をめぐる社会経済問題を経済学的視点から理解する。内容としては、世界の農業と食料問題、農産物貿易の経済理論と農業保護、食料の需要と供給、経済発展と日本農業、日本農業の担い手・農地、農業と資源保全、日本農業と農産物物流通、フードシステムと食品安全などとする。

【授業計画】

第1回① オリエンテーション、農業経済学とは何か。

農学における農業経済学の特徴、農業経済学に求められるスキルや知識

〔予習〕食料・農業・農村問題に関する情報収集を行うこと

〔復習〕ポストコロナ、ウィズコロナにおける、食料・農業・農村がどのようなようになるか将来を予測すること

第1回② 食料・農業・農村をめぐる情勢

最新の食料・農業・農村白書をもとに、農業・農村の過去・現在を確認

〔予習〕食料・農業・農村白書について事前に調べておくこと

〔復習〕授業で習った以外の白書の内容について確認すること

第2回① 農村活性化における事例分析

6次産業化や農工商連携の現状を把握、農業・農村における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕農業・農村の活性化に取り組む事例を調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第2回② 農協販売事業(直売所)における事例分析

産地を取り巻く環境変化を把握、農協販売事業(直売所)における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕農協販売事業(直売所)について事前に調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第3回① 山間地域における事例分析

山間地域振興に向けた政策とともに、山間地域における特徴的な取り組みを解説

〔予習〕山間地域の活性化に取り組む事例を調べておくこと

〔復習〕授業で習った事例以外の取り組みを確認すること

第3回② まとめ、最終課題の作成と提出

これまでの講義内容を踏まえ、これからの農業・農村について検討

〔予習〕これまでの授業の内容を整理すること

〔復習〕最終課題を完成させ、提出すること

【到達目標】

食料・農業・農村の過去・現在を把握するとともに、最近の動向を知り、今後のあり方について各自が検討できることを目標としています。具体的には、既存文献や論文、統計データをもとに、現状分析ができること、特徴的(優良)事例を取り上げ、特質すること把握することができること、それらを他者に説明することができることなどがあげられます。

【成績評価の方法】

各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。

【参考書・参考文献】

- ・藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克『現代の食料・農業・農村を考える』ミネルヴァ書房(2018)
 - ・農林水産省『食料・農業・農村白書』(各年)
- この他、授業中に適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。

受講生の理解度を見ながら、授業の進捗やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。

【履修をする上で必要な事項】

特になし

【授業時間外学修についての指示】

授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。

授業科目名 (英文表記)	管理会計論 (Management Accounting)		
単位数	1	授業形態	講義
担当教員	藤原 靖也		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 5月17日(土) 13:00~17:00	第3回 8月9日(土) 13:00~17:00	
	第2回 7月26日(土) 13:00~17:00		
【授業のねらい・概要】			
<p>いかに組織が良い経営戦略を策定したとしても、それが成功裏に進むとは限らないことは広く知られています。なぜ、ある組織の戦略は成功するのでしょうか。あるいは、成功せずに終わるのでしょうか。管理会計論は、突き詰めればこのことを情報作成・活用の観点から探求する「戦略実行のための学問」です。本講義では、組織が戦略を実行するにあたり効果的な情報の作成・活用の方策について深く検討できるようになることを目的とします。</p>			
【授業計画】			
第1回 管理会計論の概要			
<p>まず、管理会計論とはどのような学問であるのかを概観します。第1回の講義を通じ、管理会計論は経営学・会計学の双方と密接な関係を有し、業績・競争力に直結していることにつき理解を深めます。</p>			
第2回 管理会計と戦略			
<p>次に、管理会計がいかに戦略実行と結びついているのかについて確認したのち、ケースを用いて効果的な情報の作成・活用の方策について検討します。</p>			
第3回 管理会計論の課題			
<p>そして、管理会計論が抱える課題のいくつかを挙げ、戦略実行にあたり困難な点をどのようにすれば克服できるのかにつき議論を交えて理解を深めます。</p>			
【到達目標】			
<p>管理会計論の全体像につき説明でき、戦略実行において管理会計がどのような役割を果たすことができるのかにつき検討できるようになることを到達目標とします。</p>			
【成績評価の方法】			
<p>プレゼンテーションおよび議論の質(50%)および最終レポート(50%)により評価します。</p>			
【教科書】			
<p>特に定めません。必要な資料は適宜配布します。</p>			
【参考書・参考文献】			
<p>例えば以下の書籍が参考になります。</p> <p>浅田 孝・頼 誠・鈴木 研一・中川 優・佐々木 郁子(2017)「管理会計・入門—戦略経営のためのマネジリアル・アカウンティング 第4版」有斐閣。</p> <p>櫻井 通晴(2019)「管理会計【第七版】」同文館出版。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>管理会計論の理解度およびディスカッションを重視し講義を進めます。積極的に参加されることを期待します。</p>			
【履修をする上で必要な事項】			
<p>各回の予習・復習を欠かさないこと。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>予習・プレゼンテーション・最終レポート作成のため、時間外学習が必要です。このことについては講義中に適宜指示します。</p>			

2. 学部開放授業

授業科目名 (英文表記)	熊野祭礼学 (Kumano Ritual Studies)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	吉村 旭輝		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 6月29日(日) 13:00~17:00	第3回 7月24日(木) 17:00~21:00	
	第2回 7月6日(日) 13:00~17:00		
<p>【授業の概要・ねらい】</p> <p>熊野を含む紀伊半島では、ありとあらゆる地域に祭りや祭礼が存在している。とくに熊野三山といった大寺社を有する熊野地域では三山の祭礼をはじめ、また農漁村では中世以来の地域コミュニティを主体とした祭りや江戸時代に城下町として栄えた田辺などの都市では都市祭礼として田辺祭が夏に行なわれるなど、多様な祭礼形態がみられる。</p> <p>本講では、熊野三山、農漁村、都市での熊野の祭り／祭礼を歴史的に講義で概観したうえで、近年の過疎化や少子・高齢化といった地域の現代的問題にも触れ、実際に田辺祭に参加し、実践的な民俗学として、熊野における祭礼の実態を学ぶ講義である。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 熊野三山の歴史と祭礼(座学)</p> <p>第2回 熊野地域の農漁村と都市の祭り／祭礼(座学)</p> <p>第3回 田辺祭参加(フィールドワーク)</p> <p>【到達目標】</p> <p>熊野地域の歴史を深く理解し、またそこで行なわれる祭り／祭礼との関係を深く理解し、現代における熊野の実情と向きあえるようになることが目標である。</p> <p>【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】</p> <p>各回のミニレポート(50%)、田辺祭参加レポート(50%)※田辺祭参加の人は参加レポート、不参加の人は田辺祭について調べてレポートを書くこと。</p> <p>【教科書】</p> <p>特になし(毎回の授業で提示する。)</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <p>芸能史研究会編(1981-90)『日本芸能史』1-7、法政大学出版局</p> <p>和歌山県教育委員会編(2012)『熊野三山民俗文化財調査報告書』</p> <p>吉村旭輝(2022)「紀伊藩御船手方と御船歌—旧藩領内の御船歌と浦組制度を中心として—」藤田達生編『歴史遺産が地域を拓く②紀伊半島の地域創生』清文堂出版</p> <p>佛光大学アジア宗教文化情報研究所編(2008)『民俗芸能の現在』など</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】</p> <p>第1回、第2回については南紀熊野サテライト(田辺市)において授業を行います。第3回については、田辺祭に実際に参加するためJR紀伊田辺駅集合となります。また、参加できない場合は別課題の提出が必要となります。</p> <p>【履修する上で必要な事項】</p> <p>7月24日に開催される田辺祭のフィールドワーク(参加)を行なうため、それに参加できることを基本とする。(部分参加も可能)</p> <p>【授業時間外学修についての指示】</p> <p>本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行なうこと。さらに、田辺祭や同地に関連する課題の調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。授業時間の約2倍の時間外学修を要する。</p> <p>【授業理解を深める方法】</p> <p>参考書・参考文献とあわせて受講者自身の故郷あるいは現在の居所の祭り／祭礼だけでなく、年間をとおして行なわれている年中行事も調べ、予習復習をすることが重要である。</p>			

授業科目名 (英文表記)	南紀熊野の先人たち (The maestros of Nanki-Kumano)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	橋本 唯子		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 6月28日(土) 13:00~17:00	第3回 7月26日(土) 13:00~17:00	
	第2回 7月12日(土) 13:00~17:00		

【授業の概要・ねらい】

南紀熊野に関わりのある先人について学ぶことで、履修者がこの地域の特性や歴史について深く知り、「和歌山で学ぶこと」の意義を理解するものとします。

【授業計画】

- 第1回 先人たちと和歌山の歴史 第46代総理大臣片山哲・1936年ベルリンオリンピック銀メダリスト西田修平など、さまざまな特色ある先人を紹介します。
- 第2回 大逆事件と先人たち 大逆事件が南紀熊野に与えた影響を検討します。
- 第3回 南方熊楠—熊野の「知の巨人」— 南方熊楠顕彰館を訪れ、南方熊楠の幅広い知識や学問分野を超越した学びを理解します。

【到達目標】

南紀熊野の先人について学ぶことで、和歌山を中心とした日本近現代史を説明することができる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

1・2回目のリアクションペーパー(40%)、3回目のレポート(40%)、受講時の質問や意見交換での積極性(20%)で総合的に評価します。

【教科書】

特になし。

【参考書・参考文献】

授業の中で適宜示します。

【履修上の注意・メッセージ】

第1回第2回の授業は南紀熊野サテライト(田辺市新庄町3353-9)で、第3回は、南方熊楠顕彰館(田辺市中屋敷町36)で行います。

【履修する上で必要な事項】

南紀熊野の先人たちについて日頃から関心を持つこと。

【授業時間外学修についての指示】

紀伊半島の歴史に関する報道について広く関心を持って集めておいてください。復習と自主的な学習が必要です。

【授業理解を深める方法】

可能な限り参考文献にあたってください。

授業科目名 (英文表記)	統計による社会の分析 (Statistical Analysis of Society)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	松田 憲幸		
開講	南紀熊野サテライト (田辺市)	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 6月21日(土) 13:00~17:00	第4回 7月12日(土) 13:00~17:00	
	第2回 6月28日(土) 13:00~17:00	第5回 7月19日(土) 13:00~17:00	
	第3回 7月5日(土) 13:00~17:00	第6回 7月26日(土) 13:00~17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>社会の仕組みを知る一つの手段は、私たちの日常の活動記録から個人情報を取り除いたオープンデータの分析があります。記録の中に“偏り”を見出し、考察の手掛かりを得て知見を導きます。確率統計の基礎知識をおさらいして、統計分析ツール(R)や表計算ソフト(エクセル)の基本を習得、実際のオープンデータの一つを選んで分析し、結果について、グループで考察します。</p>			
【授業計画】			
第1回 確率統計の基礎		第2回 統計ツールの活用	
<ol style="list-style-type: none"> 【解説】 尺度と平均・分散 【解説】 調査と因子分析 【解説】 仮説と分散分析 【解説】 因果・相関と交絡 【議論】 論文の読解 【宿題】 R, Rscriptインストール 		<ol style="list-style-type: none"> 【解説】 ヒストグラムの描画 【演習】 エクセル・Rでヒストグラム描画 【解説】 報告書の構成 【例示】 分散分析の例 【演習】 エクセル・Rで分散分析 【参考】 Rubyインストール 	
第3回 分散分析の演習		第4回 分析計画の発表	
<ol style="list-style-type: none"> 【解説】 公開中のデータ 【解説】 オープンデータの取得と整形 【演習】 データの取得と分析 【宿題】 分析報告書の作成 		<ol style="list-style-type: none"> 【発表】 分析報告書の発表 【演習】 オープンデータの分析 【宿題】 オープンデータの分析 	
第5回 分析演習と議論		第6回 発表と質疑応答	
<ol style="list-style-type: none"> 【解説】 報告書の講評 【演習】 オープンデータの分析 【宿題】 プレゼン資料の作成 		<ol style="list-style-type: none"> 【発表】 発表と質疑応答 【議論】 分析法の利点と限界 	
【到達目標】			
オープンデータに対し、確率統計の基礎知識を基に、統計ツールを駆使して報告書を作成し、結果を説明できる。			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
授業中に課す課題について、分析結果の結果と考察の内容について、分析方法の分かりやすさ、結果の分の分かりやすさ、考察の妥当性を基準に評価します。			
【教科書】			
指定ありません。			
【参考書・参考文献】			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 浦上昌則、脇田貴文、調査系論文の読み方(改訂版)、東京図書、2020、ISBN: 4489023499、3,080円 ◆ 脇田貴文、浦上昌則、藤岡慧、心理学・社会科学研究のための 調査系論文で学ぶR入門、東京図書、2021、ISBN: 978-4-489-02367-5、3080円 			
【履修上の注意・メッセージ】			
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 授業は、田辺市の南紀熊野サテライトで実施します。 ◆ 確率統計を履修している必要はありません。また、プログラミングの経験は不要です。 			
【履修する上で必要な事項】			
WindowsのノートPCを持参ください。			
【授業時間外学修についての指示】			
宿題に取り組んでください。完璧でなくても気にしなくていいです。あきらめずに“取り組むこと”が大切です。			
【授業理解を深める方法】			
自分でよく考え、かつ、教室内の仲間と一緒によく話し合しましょう。どちらか片方だけで理解できることは限られるでしょう。授業中も、積極的に話し合ってください。			

郵便はがき

ここに
85円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑤

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和7年度学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】
- 熊野祭礼学
 - 南紀熊野の先人たち
 - 統計による社会の分析

あなたの令和7年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し85円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 85円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」のいずれかが発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等に基づき、次の方針を定め、適正に取扱います。

「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する基本指針」
(和歌山大学HP)



※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月28日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。